



全自交東京

全国自動車交通労働組合

東京地方連合会

〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-9

TEL03-3408-0876

FAX03-3408-0880

発行責任者 書記長 本田明広

東京地連第3回教宣学校

全自交東京地連は2026年7月14日、深川江戸資料館において、「第3回教宣学校」を開催しました。参加者は100名に上り、ライドシェア問題やアプリ手数料、自動運転化など、ハイタク業界を取り巻く環境がもたらさないほどの激動期を迎える中、労働組合の果たすべき本来の役割りと、組織拡大に向けた具体的な実践的手法について深く学ぶ場となりました。本教宣学校では、次世代を担う若手組合員への継承を見据え、現場の実情に即した労働運動のあり方や、政治活動との関わりが提起され、参加者は今後の各職場や支部における力強い運動展開に向けた決意を新たにしました。

冒頭、矢野教宣部長による開会挨拶で幕を開け、ハイタク労働者を取り巻く環境が厳しさを増す中での組織拡大の重要性を訴え、本

教宣学校での学びを各職場・支部の活動に活かすことへの期待を表明しました。

続いて、日交労赤羽支部の倉本直江さんが

座長に選出されました。

主催者を代表して挨拶に立った東京地連の本木弘執行委員長は、若い人材の参加による「労働組合の継承」の重要性を力説しました。

さらに自動運転、燃料高騰、アプリ手数料問題、都市型ハイヤー問題といった山積する課題にも触れ、組合の

存在意義を根拠から学習する大切さを強く訴えながら、熱中症予防と安全運転への注意喚起も行いました。

来賓として全自交労働の溝上泰中央執行委員長が登壇し、東北地震など各地の自然災害被災地へ見舞いの言葉を述べました。結成から80年近くの歴史を誇る全自交労働が日本最大のハイタク労働組合である誇りを語り、特に関東ブロック東京地連が唯一組織人員を増加させている点を高く評価し、全体を支える屋台骨としての活躍に期待を寄せました。

最大の懸案であるライドシェア導入阻止については、公共交通に理解を示す滋賀県知事の再選（トリプルスコ

アでの圧勝）などの動向を挙げ、今後の反対運動への断固たる決意を表明しました。

誰のための労働組合か

講演は、連合東京の吉岡会長代行を講師に迎え二部構成で行われました。

第一部では、「誰のために労働組合は活動するのか?」「なぜ、労働組合は政治活動に関わるのか?」をテーマに講演されました。労働相談のうち、約6割がパワハラ等のハラスメントである厳しい実態が報告されました。

吉岡氏は、会社がトップダウンの「管理」で動くのに対し、組合は「運動」の原則で動く自由で民主的な組織であると対比し、労使交渉は文書での約束が極めて重要であると説きました。

さらに政治活動の必要性について、東京都が2025年4月に施行するカスマーハラスメント防止条例（予算52億円）や、最低賃金改定（東京1,226円）を例示しまし

た。企業単体では解決できない社会保険料負担やライドシェア問題に対処するためには、国会議員・地方議員との連携が不可欠であると強調しました。

なぜ組織拡大か

第二部では、「なぜ、我々は組織拡大に取り組むのか?」「労働組合を結成する様々なケース」として講演が行われ、過半数労働組合が三六協定の締結や就業規則変更において果たす法的かつ実務的な役割が解説されました。

労働条件引き下げ提案に対しては、「下位より始めよ（経営陣の痛みを先とすべき）」という大原則や、対象範囲、優先順位、組合員の総意、文書化など5つの確認ポイントを提示しました。

組合結成パターンとして、秘密裏に進める「横掘方式」と会社と協調する「天堀方式」を紹介しました。大手カード会社での管理職からの成功例や、LINE等のSNS利用による情報漏洩の失敗例、

茨城県等の家電量販店における労働協約の地域的拡張適用の事例など、生々しい実例を交えて「数は力なり」の原則を参加者に印象付けました。

質疑応答では切実な悩みが次々と寄せられました。「若い世代へ組合の必要性をどう伝えるか」との問いには、「SNS等を通じて本人が望むものを把握し、即決を求めず根気強く取り組む姿勢が重要である」と回答しました。

組合結成時の学習会については、「何のために作るのか」という



質疑応答では現場からの切実な声が多数寄せられました



講師にお迎えした連合東京 吉岡会長代行

また、政治活動の必要性について、東京都が2025年4月に施行するカスマーハラスメント防止条例（予算52億円）や、最低賃金改定（東京1,226円）を例示しまし

また、政治活動の必要性について、東京都が2025年4月に施行するカスマーハラスメント防止条例（予算52億円）や、最低賃金改定（東京1,226円）を例示しまし

また、政治活動の必要性について、東京都が2025年4月に施行するカスマーハラスメント防止条例（予算52億円）や、最低賃金改定（東京1,226円）を例示しまし

また、政治活動の必要性について、東京都が2025年4月に施行するカスマーハラスメント防止条例（予算52億円）や、最低賃金改定（東京1,226円）を例示しまし

また、政治活動の必要性について、東京都が2025年4月に施行するカスマーハラスメント防止条例（予算52億円）や、最低賃金改定（東京1,226円）を例示しまし

'25東京地連

第4回野球大会

日交労赤羽支部チームが優勝！

決勝戦 投打で大和野球部チームを圧倒

	1	2	3	4	5	6	7	R
大 和	0	0	0	0	0	0	0	0
日交労赤羽	6	0	0	4	2	0	X	12

5月26日(火) 江東区 夢の島野球場 11:00開始



全15チームの頂点に立った日交労赤羽支部チーム

5月26日、江東区夢の島野球場にて、昨年6月の開幕戦を皮切りに、出場全15チームの間で熱戦が繰り広げられていた、2025年東京地連第4回野球大会の決勝戦が行われました。

決勝戦に勝ち進んだのは、日交労赤羽支部ドルフィンズと大和野球部、両チームの対戦となりました。

試合は、終始投打で圧倒した日交労赤羽支

全15チームの頂点へ

部チームが、12-0という大差で大和野球部を破り、見事優勝の栄誉を勝ち取りました。

結果として大差がつきましたが、両チ

ムの間にスコアほどの差は感じず、敗れた大和野球部チームは、要所でのミスが大量失点につながる残念な結果となっていました。

現在、すでに今年度の第5回大会も始まっ

ておりますが、近頃は乗務員不足の影響のせいもあり、日程の確保が難しいなか、全参加チームのご協力により、無事に大会が終了できたことに對しまして御礼申し上げます。



第五回囲碁将棋大会



2026年全自交東京地連

2026 東京地連囲碁将棋大会結果

- ◆将棋の部 個人戦
 - 優 勝 渡邊 徳之 (京自労)
 - 第2位 三成 律子 (日交労)
 - 第3位 中西 晃一 (大日本)
- ◆将棋の部 団体戦
 - 優 勝 京自労調布中央支部 (木部 堅太郎、衛藤 丈世、國枝 正晴)
 - 第2位 日交労湾岸支部 (尾池 雄太郎、杉田 茂、大山 聡)
 - 第3位 京自労吉祥寺支部 (押見 哲広、三田 真司、鳥居 正幸)
- ◆囲碁の部 個人戦
 - 優 勝 山科 真二 (ワイエム)
 - 第2位 島袋 恒正 (三交労)
 - 第3位 渡邊 慶朗 (日交労)

※敬称を略させていただきました



将棋個人優勝 渡邊徳之さん



将棋団体優勝 京自労調布中央支部



囲碁個人優勝 山科真二さん

対象条件を満たした方全員に

Amazonギフトカード

プレゼント!

2026年

2/2

9/30

キャンペーン

詳しくはこちら

Amazon, Amazon.co.jpおよびそれらのロゴは

Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

ご利用中のカードローンを見直して、家計をスリムにしませんか?

〈中央ろうきん〉カードローン〈マイプラン〉

詳しくはコチラ

ろうきんイメージモデル 森川 葵